

ゼンリンと MoT

3万台のドライブレコーダー映像を活用した地図情報メンテナンス
全国の高速道路にて試験運用開始

▲高速道路の規制標識を画像認識（左）し、地図上該当箇所(右)と比較し差分を検出

株式会社ゼンリン(本社：福岡県北九州市、代表取締役社長：高山 善司、以下ゼンリン)と、株式会社 Mobility Technologies(本社：東京都港区、代表取締役社長：中島 宏、以下 MoT)は、ドライブレコーダーのデータを元に、地図と実際の道路情報の差分を AI 技術などを用いて自動で抽出し、地図のメンテナンスに活用する「道路情報の自動差分抽出プロジェクト」において、全国の高速道路を対象に試験運用を開始しました。高速道路の規制標識の変化を自動で検出します。

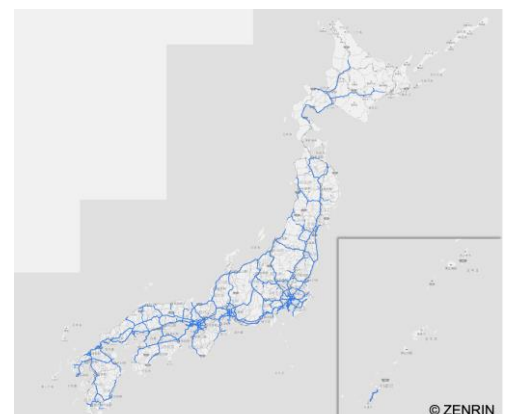
| ドライブレコーダーのカメラ映像を AI で認識し、地図との差分を自動抽出

「道路情報の自動差分抽出プロジェクト」は、ドライブレコーダーから取得できる情報を元に道路上の物体を検出し、地図と比較することで現地と地図の差分を見つけ、地図を更新するプロジェクトです。2020年4月の開始から要素技術の研究とシステム開発を終え、2022年4月より全国の高速道路を対象に試験運用を開始しました。

| 契約台数3万台以上！『DRIVE CHART』搭載車両が

全国の高速道路の約9割を1ヶ月で走行

本プロジェクトの特徴である、高鮮度な大量の道路情報データは、MoTが展開する次世代AIドラレコサービス『DRIVE CHART』(<https://drive-chart.com/>)に



参考：Maps to the Future 地図情報で未来を創造する。株式会社ゼンリンについて

ゼンリンは、「知・時空間情報の創造により人びとの生活に貢献します」という企業理念を実現するため「現実世界をライブラリー化する」をミッションに掲げ、各種情報を収集・管理し、さまざまな情報を紐付ける空間情報におけるプラットフォームとして、位置情報ソリューションの提供を行っています。



- ・社名 : 株式会社ゼンリン
- ・所在地 : 〒804-0003 福岡県北九州市戸畑区中原新町3番1号
- ・設立 : 1961年4月
- ・事業内容 : 『知・時空間情報』の基盤となる各種情報を収集、管理し、住宅地図帳などの各種地図、地図データベース、コンテンツとして提供。
また、『知・時空間情報』に付帯、関連する各種ソフトウェアの開発や、サービスの提供を実施。
- ・サイト : コーポレートサイト <https://www.zenrin.co.jp/>

参考：移動で人を幸せに。株式会社 Mobility Technologies について

Mobility Technologies は「移動で人を幸せに。」をミッションに、日本のモビリティ産業をアップデートする様々なITサービスの提供を行っています。



- ・社名 : 株式会社 Mobility Technologies
- ・所在地 : 〒106-6216 東京都港区六本木3-2-1 住友不動産六本木グランドタワー16F
- ・設立 : 1977年8月
- ・事業内容 : タクシー事業者等に向けた配車システム提供などモビリティ関連事業
 - タクシーアプリ『GO』 <https://go.mo-t.com/>
 - タクシーアプリ『JapanTaxi』 <https://japantaxi.jp/>
 - 法人向けサービス『GO BUSINESS』 <https://go.mo-t.com/business/>
 - タクシーデリバリーアプリ『GO Dine』 <https://go-dine.jp/>
 - 交通事故削減支援サービス『DRIVE CHART』 <https://drive-chart.com/>
- ・子会社 : 株式会社 IRIS <https://www.tokyo-prime.jp/>
- ・サイト : コーポレートサイト <https://mo-t.com/>
採用サイト <https://mo-t.com/recruit>

※記載されている会社名や商品名等は、各社の商標又は登録商標です。(出願中含む)